

## 編集後記

2021年11月4日、ついに神奈川県支部の行事を再開することができました。ほんとうに良かったですね。

当日、司会進行を担当した筆者は、最後の最後で、大勢集う皆さんの姿を見て、不覚にもウルっときてしまいました。

再開された交流・研修会については本誌上でページを割いて伝えておりますので、そちらをじっくりお読みいただくとして、以下ではちょっと視点を変えた書き込みをしたいと思います。

Facebookが社名を「メタ」に変更し、SNSサービスから仮想空間の構築へと軸足を移すそうです。世の中はコロナ禍の行動制限もあって、ますます仮想現実へのめり込んでいくようですね。

愛猫を膝の上に乗せながら今この後記を書いている筆者は思うのです。人間以外の動物に、仮想現実なんてあり得るだろうか。真っ当な生き物には目の前のリアルな空間しかないだろう、と。

人間だけが、仮想空間へ向かって前のめりになっ

ていく——その世界では、自らの行為の結果生じたマイクロプラスチックに侵された海やCO<sub>2</sub>のとめどない排出による気候変動などとは無縁な、夢の世界がいくらかでも展開できます。

人間の身体性が今どんどん軽んじられる中、心息動を「核」とする私たちの太極拳は時代から逆行しているのでしょうか。

いや、違う。むしろ、こんな時代だからこそ必要とされているのだということ、それを今回、1年8ヶ月半ぶりに再開した支部の集いを通して、強く感じました。

集まった皆さんの表情は、誰も彼も生き生きと輝いていました。

生身で向き合い、気の波動を感じ合い、動くことの素晴らしさ。楊名時師家が60年を越えて伝えてくれた私たちの太極拳は、やはりこの先の時代にもなくてはならないもの——そう感じるひとときでした。

(結城 記)

## ★投稿先は以下の通りです

- メール fwin8886@nifty.com
- 郵送 〒232-0071 横浜市南区永田北3-13-11
- 宛名 『浜太極』編集部

※投稿にあたってのお願い

- ・投稿は原則的にメールにてお願いいたします(写真は画像を添付してください)。
- ・やむをえず郵送される場合は、電話・メール等の連絡先を明記願います(FAXでの投稿は不可)。
- ・本文文章量の目安は1000～1500字程度。写真は著作権・肖像権の許諾を得たものをお送りください。
- ・すべての投稿を掲載できるわけではありません。掲載の際は編集部よりご連絡申し上げます。
- ・編集部のルールに基づき、原稿に修正を施す場合があります。あらかじめご了承ください。

## ★「太極拳川柳・短歌」&amp;「わたしの宝物」投稿随時大募集！！

太極拳川柳・短歌……季語にとらわれず、五七五か五七五七七に乗せて太極拳への思いを綴ってください。

わたしの宝物……楊名時太極拳つながりで心に残る写真を、ご投稿いただけましたら幸いです。

※投稿先はいずれも上記『浜太極』編集部まで。